



フォーバル、青森商工会議所 「スタートアップ・第二創業支援業務」を受託

～スタートアップ企業の成長支援と地域企業の第二創業支援により、地域経済の活性化を目指す～

株式会社フォーバル（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：中島 将典、以下「フォーバル」）は、このたび青森商工会議所より「スタートアップ・第二創業支援業務」（以下、本事業）を受託したことをお知らせいたします。本事業は、青森商工会議所と青森市と連携して進めます。



青森市
AOMORI CITY



青森商工会議所



「新しいあたりまえ」で、新しい世界を創る

「スタートアップ・第二創業支援業務」の背景と目的

人口減少や市場環境の変化が進む中、地域企業の持続的な成長には第二創業や新規事業開発が重要となっています。青森市では、令和2年度からアクセラレータープログラムを実施し、伴走支援を通じてスタートアップ企業の成長促進と持続可能なスタートアップ・エコシステムの構築に取り組んできました。

本事業は、青森市を含む東青圏域において、地域企業の第二創業や新事業展開、スタートアップの成長支援を通じて地域経済の活性化を図る取り組みです。

地域の中小企業においては、環境変化への対応の必要性を感じながらも、人材やノウハウの不足などから、新たな事業展開に向けた一歩を踏み出せていない事業者が少なくありません。また、若者が魅力を感じる仕事や企業の取り組みの魅力が十分に伝わっていないという課題もあります。

このような背景を踏まえ、従来のセミナー等による「待ちの支援」から脱却し、潜在的な変革ニーズを持つ企業へ直接働きかける「プッシュ型アプローチ」を導入し、専門家による継続的な伴走支援を実施します。ビジネスモデルの磨き上げから専門家・外部資源や支援制度とのマッチング、事業展開までを一貫して支援することで、新たな事業創出と持続可能な地域発展を目指します。

フォーバルの本事業における具体的な取り組み

フォーバルは、令和8年度において、計画書に掲げる以下の「4本柱」を軸に、潜在企業の掘り起こしから構想策定、地域が自走するための基盤づくりまでを実証・推進します。

①【知る】プッシュ型訪問による簡易経営診断と特定診断（きづなPARK）

共通アンケートによる現状把握に加え、独自プラットフォーム「きづなPARK」を活用し、財務分析だけでなくESGやDX等の非財務データも定量的に可視化します。

②【見つける・育てる】事業創出・新事業開発に向けた挑戦者の発掘と伴走支援

経営診断を通じて「今」の課題や自社の強みを可視化し、5～10年後を見据えたビジョン策定から変革テーマの設定、実行可能なアクションプランまで、新事業開発および第二創業に向けた構想策定を伴走支援します。

- ③【つなぐ仕組み】事業創造交流会「GEAR LAB（ギアラボ）」の企画・運営
実際に第二創業や事業変革を成し遂げた東北各地の経営者を講師に招き、概ね2ヶ月に1回（対面・オンライン）のハイブリッド形式で研究会・交流会を開催します。
- ④【地域に残す仕組み】経営診断人材の育成と産官学金ネットワークによる自走化
地元の教育機関（大学・専門学校）や地域金融機関、支援機関の専門家等とも連携し、経営診断の共同実施や診断ノウハウの提供・人材育成を推進します。

▼ 本事業や自治体事業に関するお問い合わせはこちら ▼

https://www.forval.co.jp/contact_ask/

株式会社フォーバルについて

株式会社フォーバル（東証スタンダード：8275）は、中小・小規模企業向けの伴走コンサルティングを主力事業とし、「情報通信」「海外」「環境」「人材・教育」「起業・事業承継」の5分野で経営支援サービスを展開しています。独自の「企業ドクター（次世代経営コンサルタント）」モデルを通じて、経営課題の可視化から改善提案、実行支援までを一気通貫で提供し、ESG経営、人的資本経営、DX/GX推進など企業価値向上に資する高付加価値支援を行っています。

また、地方創生戦略「F-Japan構想」のもと、自治体、民間企業、教育機関、金融機関との連携による地域共創モデルの構築および横展開を推進しています。

■会社概要

社名：株式会社フォーバル

代表：代表取締役社長 中島 将典

設立：1980年（昭和55年）9月18日

所在地：東京都渋谷区神宮前5丁目52番2号青山オーバルビル14階

URL：<https://www.forval.co.jp>

【本件に関する報道関係のお問合せ先】

フォーバルPR事務局

forval_pr@vectorinc.co.jp